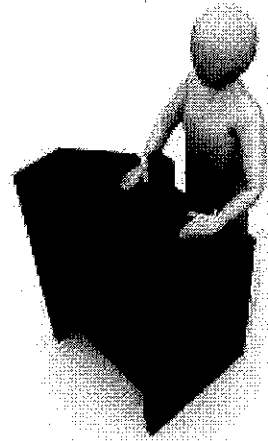


先輩に学ぶ

昨年度、コロナ禍のために今まで行ってきた福祉体験学習などを変更せざるをえなくなり、「どうしよう」と困惑しましたが、「困ったときこそ地域頼み」と思い、無理をお願いして2年生を対象に農業体験と職業講話を実施させてもらうようにしました。農業体験においては、8軒の農家の方々の協力を得て2日間実施し、先週は華豊の濱龍一郎様と加津佐解体の竹原仁様に職業講話をしていただきました。お二人は加津佐中出身で、加津佐町を担う若手経営者。現在に至るまでの経歴や今の仕事への思いなどを熱く語って下さいました。生徒も真剣に話を聞き、質問等も意欲的に行っていました。以下に講師へのお礼状の一部を紹介します。



- 僕は先を見据えることが苦手です。でも、弱点を減らして、逆にそれを強みにできるように頑張ります。
- 僕は将来、調理師になろうと思っています。今日の講話で学んだことを活かせるように頑張ります。特に「中華は火力とスピード、家には愛情」という言葉を心に入れておこうと思います。
- 私も仕事に就いたら、熱中することをつくり、失敗したとき助けてくれる仲間をつくる大切さを学びました。特に Never put of till tomorrow what you can do today. を心がけたいです。
- 循環型社会を目指すことで、環境に良いことがわかりました。また、「仕事が楽しいから頑張れる。」だから、お客さんに喜んでもらえる仕事だとわかりました。

えっ、もう

表題を見て、「何が？」と思われた方もいることでしょう。学校は授業に加え、大きな行事等を行いながら、生徒を育成しています。学校の大きな行事といえば、まず頭に浮かぶのは、体育大会や文化祭・合唱コンクールですが、何より入学式と卒業証書授与式があげられます。3年生は11月に入り、本格的に受験モードに入りました。いよいよ進路に向けて“まっしぐら”といったところです。それを終えて、やっと卒業証書授与式となりますが、既にその準備に入っています。本校では、用務員の岡さんが、この時期から式場を飾るサイネリアの種をまき、5ヶ月間をかけて立派な鉢花を育ててくださっています。今年もその種まきを先日行い、既に苗が育ちつつあります。皆さんもご存知のように、植物は面白いもので、日光、水、肥料、温度といった環境を整えてやればしっかり育ちます。少なくとも多くてもいけません。手をかけ、愛情をたっぷり注ぐことで立派に育つのです。来年の3月、素敵な花々が咲くことを楽しみにしています。

